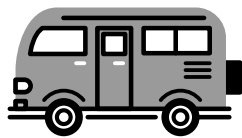


真鶴町で初めてとなる地域おこし協力隊が誕生しました！！

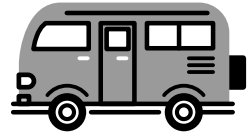
～港町の新しい働き方をさらに開拓していきます！～

問い合わせ 政策推進課 内線☎311

真鶴町における新しい働き方をさらに開拓するため、町として初めてとなる地域おこし協力隊員を受入れました。隊員は、これまで地元関係団体と町が公民連携で6年間にわたり行ってきたサテライトオフィスや個人事業主などの誘致業務に取り組んでいきます。民間活力による誘致促進を図ることで、町内の活性化及び雇用の創出を目指していきます。



QUESTION
地域おこし協力隊員とは？



地域おこし協力隊員は、都市地域から過疎地域等に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。令和3年度時点で、約6,000名の地域おこし協力隊員が全国で活動しています。

SELF INTRODUCTION
自己紹介
地域おこし協力隊員 松木 一平

真鶴町民の皆さん、こんにちは。

この度、真鶴町で初めてとなる地域おこし協力隊員に任命された、松木一平と申します。

簡単ではありますが、これまでの経歴を紹介させていただきます。

生まれも育ちも真鶴町ですが、高校卒業後、店舗運営やレストランマネジメント、マーケティングを学ぶため、東京の調理師専門学校に進学しました。

専門学校卒業後は、ふるさとである真鶴町でレストランを経営することが夢であったため、東京で300年の歴史がある京料理和食レストランで修行を積んできました。

その後、23歳の時に、店舗マネジメントを学ぶため小田原報徳会館へ入社。24歳の時に報徳神社内にあるカフェ2店舗の店長に就任し、コミュニティカフェの運営に携わってきました。

この時に学んだ二宮尊徳の教えに感銘を受け、ふるさとにUターンすることを決意しました。

そして現在は、地域おこし協力隊員として、新しい働き場の開拓など真鶴町の活性化を目指したサテライトオフィスや個人事業主の誘致などの仕事に従事しています。週末は真鶴港でコミュニティカフェも運営しており、地元の方や観光客の皆様との交流を楽しんでいます。

まだまだ未熟者ではありますが、町で初めての地域おこし協力隊員として精一杯頑張ります！

よろしくお願いします！！